

令和2年度 社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会事業報告書

【はじめに】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、世の中が一変した年でした。国内的にも感染者が拡大し、緊急事態宣言やまん延防止措置の発令などにより経済活動も停滞して、さまざまな生活課題が顕在、深刻化しています。

特に全国の社会福祉協議会では、休業や失業等により生活福祉資金の緊急小口資金や総合支援資金の貸付件数が全国で100万件を超えるという未曾有の状況となっています。

そのような中で、金ケ崎町社会福祉協議会は、厳しい状況のなかでも福祉サービスに生活を託している高齢者、障がい者、児童、生活困窮者等への支援を継続するため、日々、奮闘いたしました。

感染防止の観点から、長年実施してきた各種事業やイベントの中止、延期をはじめ規模縮小など“三密”回避や各種感染対策に追われた一年でありました。

さらに、慢性的な職員不足と利用者の増減等、不安定な状況により、10月からは指定訪問介護事業所の日曜営業と放課後等デイサービス第2クレヨンの休止の措置をとりました。

また、冬場には近年にない大雪の影響で介護や障がい等の通所系サービスの休業や利用控えにより、利用実績が前年に比べ大きく減少しました。

このような中で、町と連携して、令和3年度からの『第3期金ケ崎町地域福祉活動計画』を策定するなど、地域福祉の推進を図るため、今後の方向性をまとめ、各種事業に取り組んだ一年でした。

【法人運営部門】

1 法人運営事業

(1) 運営管理

適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務人事管理をはじめ、組織全体にかかわる企画・調整等を行いました。

- ① 理事会(6回/6月3日、8月21日、12月21日、1月27日、2月10日、3月23日)
- ② 評議員会(3回/6月24日、2月10日、3月30日)
- ③ 監査会及び出納調査(4回/5月27日、8月28日、11月18日、2月24日)

- ④ 岩手県社会福祉法人指導監査(11月30日)
- ⑤ 会計顧問(税理士)による会計検証(毎月)
- ⑥ 福祉サービス評価、苦情解決委員会(1回/11月4日) 苦情・事故等 合計44件
(苦情11件、車両事故14件、事故・怪我10件、ヒヤハット6件、その他3件)前年度27件
- ⑦ 衛生委員会/毎月1回 定例会開催

(2) 役職員等研修

多様な福祉課題や住民ニーズに対応するため、役職員の資質向上を目的に各種研修会や講習会への参加を進め、資格取得も推奨し、スキルアップに取り組みました。

① 職員会議

- ・ 会長、事務局長、課長による会議「月例課長会議」
- ・ 全職員による月例会議「全体ミーティング」
- ・ 部署代表者による月例会議「セクション会議」
- ・ 各部署月例会議(ミーティング)
- ・ その他業務検討、調整会議等随時

② 役職員研修 **対外的な視察研修見合せ、自粛、中止多数**

- ・ 職員研修「介護職員の接遇マナー講座」(リモート研修) 3月25日 21名参加
- ・ 各事業所(訪問介護、通所介護、障がい)月例研修
- ・ 日常生活自立支援事業連絡会議(10月24日)奥州市福祉センター/生活支援員6名参加

(3) 避難訓練/2回(10月8日、3月22日)

(4) 金ケ崎町社会福祉協議会への寄付

多様な福祉ニーズに対応し地域福祉の充実を図るため、香典返し、バザー・イベントの益金、物品寄付などみなさまの様々な善意で造成されています。

- ① 福祉基金寄付 25件 790,000円(前年度35件 1,113,053円)
- ② ワークステーションかねがさき指定寄付 1件 100,000円(前年度1件 100,000円)
- ③ はっぴいふれいすかねがさき指定寄付 7件 134,000円
- ④ 物品寄付(官製はがき、車いす、歩行器、デザイン切手、衣類、食材、お菓子、スイカ、野菜、災害用備蓄食品など) 54件(前年実績49件)特にその中で、東北電力ネットワーク㈱やデンソー岩手労働組合など企業からの支援も多数寄せられる。
- ⑤ 車両寄贈 24時間テレビチャリティー福祉車両 リフト付きワゴン車

(5) 職員等処遇改善

- ① 介護職員特定処遇改善加算金を活用して介護手当等を支給し、待遇改善を図りました。
 - ② 処遇改善や研修体制の整備、福利厚生・職場環境（ロッカー休憩室備品）の整備に努めました。
 - ③ 資格手当を支給し、職員の資質向上やキャリアアップを推進しました。
- (6) 災害ボランティアセンター設置運営広域訓練
- 災害発生時を想定し、ボランティアセンターの設置運営を行う訓練を奥州市と合同で実施しました。 11月12日 奥州市総合福祉センター 6名参加

2 指定管理

町の指定管理者制度により下記の施設管理を行いました。

- (1) 金ヶ崎学童保育所
- (2) 北部学童保育所
- (3) 三ヶ尻学童保育所
- (4) グループリビング「壮健ホーム」

3 各関係機関・団体等との連携協力

- (1) 地区社会福祉推進協議会
 - ① 6生活圏社会福祉推進協議会への助成。福祉講演会、敬老会等地区福祉事業に活用
 - ② 地区社会福祉推進協議会長・自治会福祉部長・ゆいっこハウス運営委員会会長・地区生涯教育センター所長合同会議 **開催中止**

金ヶ崎町民生委員児童委員協議会定例会(月例)への出席
- (2) 町内福祉施設等協働事業「福祉施設等研修会」 **開催中止**
- (4) 企業との連携協力、社会貢献活動の支援
 - ・トヨタ自動車東日本(株)岩手工場
 - ・トヨタカローラ南岩手株式会社（配食ボランティア活動協定締結）
 - ・東北電力ネットワーク(株)（災害用備蓄食品寄贈）
 - ・東亜道路工業(株)・金ヶ崎郵便局・塩野義製薬(株)
 - ・(株)デンソー岩手、岩手労働組合

【地域福祉事業部門】

1 地域福祉推進事業

- (1) 金ケ崎町社会福祉大会(10月29日) **開催中止**
- (2) 『第3期金ケ崎町地域福祉活動計画』発刊 発行部数200部
- (3) 第55回金婚を祝う会(10月28日) 金ケ崎町中央生涯教育センター／26名参加
- (4) 元気高齢者促進事業「ゆいっこハウス」／年間活動回数238回、延参加者数3,156人
活動地区33団体に助成。(前年度335回、延参加者数5,064人)
- (5) 一人暮らし高齢者のサロン「青い鳥のつどい」(7回／8月4日、9月18日・24日
10月22日・27日、2月26日、3月3日／延参加者数77人(前年度143人)
- (6) ひとり親家庭交流事業への支援・子育て推進事業「親と子のつどい」 **開催中止**
- (7) 金ケ崎町ファミリーサポート事業
子育てを手伝ってほしい方(おねがい会員)と、子育てを手伝ってくださる方(まかせて会員)をつなげる会員制の子育て支援ネットワーク「ファミサポかねがさき」を運営。
会員数140名(おねがい会員83名、まかせて会員42名、両方会員15名)利用数32人
(前年度130名(おねがい会員75名、まかせて会員40名、両方会員15名)利用数30人
・ファミサポ救命講習会、交流会、研修会など **開催中止**
- (8) 介護者リフレッシュ交流事業 1回／①7月6日：一関市 ② **秋中止**
延11名参加者(前年度26名)相互の情報交換や交流を行うなかで親睦を深め、介護疲れ、介護負担軽減と心身のリフレッシュを図りました。
- (9) 長寿100歳祝賀行事／①8月3日 及川ミツエ様 ②8月15日 石川キヨミ様
③9月5日 本明カツ様 ④12月2日 岩野フシヨ様
町と連携し、誕生月の100歳記念祝賀行事においてお祝いの花とケーキを贈呈し祝福。
- (10) 町地域見守りネットワーク協力(協力団体68)／協力事業者から情報提供7件
- (11) ボランティア連絡協議会との連携事業
 - ① 雪かきボランティア事業「スノーバスターズ」総会(11月26日)
 - ・一斉活動6回、企業協力7回、延117件訪問、学生、企業ボランティア等延333名
 - ・除雪、見守り支援と小地域ネットワーク活動、ボランティア基盤整備を目標に、パトロール、声掛けを実施。(前年度一斉5回、延65件、ボランティア222名)
 - ・地域住民による歩道除雪活動(岩手県、金ケ崎町と住民参加型歩道除雪協定を締結)
 - ② ハウスヘルパーボランティア「住宅改修サービス」(2回／7月4、9日・10月10日)

家屋等の補修改修 6 世帯（前年度実績なし）

③ ふれあいレターサービス(暑中見舞、年賀状) **中止**

ボランティアや町内小中高校と連携し、児童・生徒から 80 歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯等に季節のメッセージを届けるサービス。

④ 視覚障がい者とボランティアの交流会「ふれあいハイキング」(9 月) **開催中止**

⑤ 「町内クリーン作戦」(6 月) **開催中止**

ボランティア同士の緊急時による連絡訓練も兼ね、一堂に会し清掃活動を行う事業。

(12) 地域福祉懇談会の開催

地域の情報や生活課題を発見・共有し、その解決と暮らしやすい環境づくりを進めるために福祉懇談会を開催いたしました。

- ・街地区(12 月 22 日)参加者 7 名
- ・永岡地区(12 月 22 日)参加者 10 名
- ・南方地区(12 月 15 日)参加者 6 名
- ・西部地区(12 月 15 日)参加者 6 名
- ・三ヶ尻地区(1 月 14 日)参加者 12 名
- ・北部地区(1 月 14 日)参加者 10 名

合計 51 名（前年度 86 名）

(13) 買い物支援バスの運行

交通弱者や買物弱者と呼ばれる人々の不便解消を目的に『買い物支援バス』を実施。

運行回数 19 回、利用者延人数 190 名（前年度実績 運行回数 22 回、利用者数延 253 人）

(14) はっぴいふれいすかねがさきの開催

子どもの貧困対策や居場所づくりを目的に金ヶ崎版子ども食堂『はっぴいふれいすかねがさき』を開催。感染防止対策によりテイクアウトを取り入れ全 10 回、延参加者 666 名（前年度 6 回、延 254 名）

2 福祉相談事業

町民の日常的な困りごとを早期に解決し、安心した生活が送れるよう各種相談窓口を設置し対応しました。

- (1) ふれあい福祉相談(ふれあい相談員による困りごと相談)毎週金曜日／7 件（前年度 12 件）
- (2) 社協窓口相談 559 件≪困窮相談 106 件、ボランティア 7 件、介護相談 4 件、障がい相談 131 件、日常生活自立支援事業 311 件≫（前年度 554 件）
- (3) 障がい者不利益取扱い相談(岩手県社会福祉協議会受託事業) 0 件（前年度 0 件）
- (4) 弁護士による無料法律相談(12 月 18 日) 4 件（前年度 5 件）

3 広報啓発活動

(1) 広報発行／全戸配付

- ① かねがさき社福だより第 242～247 号、「かねがさきのあかいはねこ News」第 6 号
- ② ボランティアだより第 26 号

(2) ホームページによる情報発信 URL <http://www.isop.ne.jp/atru/kinsyakyo/index.html>

(3) 第 73 回岩手県社会福祉大会への参加(10 月 30 日) 岩手県民会館／8 名参加

(4) 受賞

- ・全国社会福祉協議会長表彰 菅原真澄（主任放課後児童支援員）
- ・岩手県知事表彰 鈴木伸也様（身体障害者協会役員） 小野寺正治様（友愛園施設長）
- ・岩手県社会福祉大会長表彰 宮本運山（障がい福祉課長） 高橋政喜様（前民協会長）
- ・岩手県民生委員児童委員協議会長表彰 民生委員児童委員 3 名

4 福祉の人材育成、養成関連事業

(1) ボランティア研修視察旅行 **開催中止**

(2) ボランティアスクール事業 **開催中止**

(3)生活支援サポーター養成研修(町保健福祉センターとの共催事業)

11 月 11 日・18 日開催 7 名（前年度 12 名）修了／講師：訪問介護職員 1 名講師派遣

5 民間福祉活動支援

福祉団体等の会議や各種活動への職員派遣等、活動支援を行いました。

(1) 町老人クラブ連合会定期総代会 **書面議決**

(2) 町身体障害者福祉協会定期総会 **書面議決**

(3) 町民生委員児童委員協議会民生部との懇談会（7 月 29 日）14 名参加

6 福祉バス貸出事業

社会福祉の向上を図るため、本会の業務に支障のない範囲で、各種団体に対し、福祉バスの貸出を行いました。貸出件数 17 件（前年度実績 51 件）

7 福祉サービス利用支援

高齢者や障がい者等を支援することを目的に、資金貸付、手続き代行、情報提供等の業務を通じ、福祉サービスの利用援助及び生活支援を促進しました。

(1) 日常生活自立支援事業

日常生活において判断が十分にできない方が地域で安心して暮らせるように福祉サービスの利用手続きや金銭管理などを援助

- ・ 奥州地区基幹社協(奥州市社協)専門員 2 名、金ヶ崎地区に生活支援員 8 名を配置
- ・ 現在の契約者数 24 名(新規 3 件)

(2) 生活支援サービス事業

在宅の高齢者等が、住みなれた自宅で生きがいを持ち、安心して健康に生活できるよう社会福祉協議会の公共性と独自性を生かしインフォーマル(制度外)サービスを提供

① 配食サービス

一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等に毎週火・金曜日に昼食弁当を 1 食 550 円で提供。ボランティアの高齢化や人手不足を補うためにトヨタカローラ南岩手㈱と配食ボランティア活動の協定を締結し毎回社員 1 名の派遣協力を受ける。

- ・ サービス日数 96 日、1,332 食提供、平均 13.9 食 利用登録者 37 名 (前年度 97 日、1,327 食、平均 13.7 食)
- ・ ボランティア登録 調理 16 名、配食 4 名、トヨタカローラ南岩手㈱社員 2 名
- ・ 配食サービス利用者とボランティアの交流会 **開催中止**

② 福祉有償運送(外出支援)サービス事業

福祉有償運送事業者として、寝たきりや障がい者等のため、一般の交通機関を利用できない人々の通院や公的手続きの送迎を行う外出支援サービスを実施。

- ・ 利用件数 116 件《町内 83 件、町外 33 件、利用登録者 16 名》 (前年度 135 件)
- ・ 運転ボランティア登録 2 名

③ 訪問理美容サービス (寝たきり、身障者等)

- ・ 利用件数 62 件、利用登録者 21 名 (前年度 62 件、利用登録者 21 名)
- ・ 理美容師ボランティア登録者 3 名 (前年度 4 名)

④ 衣類洗濯サービス登録者 2 名 利用回数 12 回 (前年度利用実績なし)

(3) 日常用具貸出事業

生活における福祉の向上を目的に、車いすや子育て支援事業としてチャイルドシートの貸出しを行いました。

車いす延 25 台 (前年度 27 台)、チャイルドシート延 9 台 (前年度 15 台)

(4) 生活援助貸付事業

新型コロナの影響で過去最大の貸付相談、問い合わせ件数 54 件 (前年度 17 件) 新規貸付件数 44 件 (前年度 7 件)。

生活福祉資金貸付事業(岩手県社会福祉協議会と連携して実施)

- ・貸付 38 件≪福祉資金 5 件、教育支援資金 28 件、緊急小口 3 件、離職者支援 1 件、総合支援資金 1 件≫（前年度 37 件）
- ・新規契約件数 44 件（コロナ特例総合 10 件、コロナ緊急小口 30 件、通常 4 件）
- (5) たすけあい資金貸付事業／貸付利用 18 件、新規利用 5 件（前年度 34 件）
- (6) 生活困窮者自立支援事業
相談件数 47 件、プラン策定件数 7 件（前年度相談 24 件、プラン策定 10 件）
- (7) ささえ愛お食事パック配給事業
失業、生活困窮等で生活費が枯渇し何日も食事が摂れていない人のためのセーフティネット(安全網)対策として緊急食(3 日～1 週間程度の食料)を提供 2 件（前年度 1 件）

8 共同募金事業

共同募金会と連携し運動を展開し、目標達成と地域への配分に努めました。

- (1) 一般募金(赤い羽根共同募金) スローガン「じぶんの町を良くするしくみ」
 - ・運動期間 10 月 1 日～11 月 30 日 **街頭募金中止**
 - ・募金総額 3,610,264 円（前年度 3,744,036 円）
- (2) 歳末募金(歳末たすけあい義援金) スローガン「みんなでささえあうあったかい地域づくり」
 - ・運動期間 12 月 1 日～12 月 31 日
 - ・募金総額 1,804,559 円 配分額 1,415,000 円（前年度 1,936,955 円・配分額 1,370,000 円）
 - ・在宅者配分 283 世帯≪一人暮らし高齢者・高齢者世帯、母子父子世帯、介護等を要する世帯、東日本大震災避難者等、その他支援世帯≫（前年度 233 世帯）
 - ・配分式(12 月 24 日)民生委員・児童委員らの協力を得て各世帯に配分
- (3) 第 10 回記念歳末たすけあい演芸大会 **開催中止**

9 学童保育事業

- (1) 学童保育所の運営

放課後児童対策として新たに北部第 2 学童を開設し、金ケ崎（第 1・第 2・第 3・第 4）三ヶ尻、北部（第 1・第 2）、西、永岡の 5ヶ所、9 クラスで学童保育所を運営。

- ・開所日／月～土曜日(祝日、盆、年末年始を除く)
- ・延長保育／金ケ崎、三ヶ尻、北部において午後 7 時まで延長保育有
- ・一日保育(春夏冬の長期休み期間)／午前 8 時～午後 6 時、延長保育は午後 7 時まで

〈実績〉

- ① 金ケ崎第 1 学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 42 人（前年度在籍 42 人）

- ② 金ヶ崎第2学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 38 人（前年度在籍 41 人）
 - ③ 金ヶ崎第3学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 37 人（前年度在籍 42 人）
 - ④ 金ヶ崎第4学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 41 人（前年度在籍 42 人）
 - ⑤ 三ヶ尻学童保育所・・・開所日数 292 日／在籍数 43 人（前年度在籍 41 人）
 - ⑥ 北部第1学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 41 人（前年度在籍 63 人）
 - ⑦ 北部第2学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 29 人（新規）
 - ⑧ 西学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 19 人（前年度在籍 25 人）
 - ⑨ 永岡学童保育所・・・開所日数 293 日／在籍数 43 人（前年度在籍 41 人）
- (2) 学童保育所保育料の減免を実施

減免額：兄弟児 65 件 2,151,900 円、母子父子 30 件 968,200 円、生活保護 1 件 34,800 円
 減免総合計 96 件 3,175,300 円（前年度 87 件 3,227,900 円）

【介護保険サービス事業部門】

1 介護保険事業

介護保険事業では、訪問介護事業において職員確保が困難なため、10月から日曜日と元旦の営業を取りやめました。通所介護事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大による利用控えや冬場の大雪の影響により、年度の後半から利用者減少し、前年度を大きく下回りました。唯一、居宅介護支援事業所は、前年度を上回る利用実績を上げています。

(1)居宅介護支援事業所

- ① ケアプラン(要介護1～要介護5) 作成件数 1,210 件(前年度 1,140 件)
- ② 介護予防プラン(要支援1、要支援2、事業対象者) 作成件数 446 件(前年度 397 件)
- ③ 要介護認定調査 41 件(前年度 55 件)

(2)訪問介護事業所 337 日稼動／契約者数 47 名、一日平均 11.4 人(前年度 15.4 人)

(3)通所介護事業所 309 日稼動／契約者数 67 名、一日平均 18.1 人(前年度 21.1 人)

(4)生活支援コーディネーター配置

介護予防・日常生活支援総合事業の生活支援サービスの充実のために、地域資源の開発、人材の養成・発掘、ニーズ把握、ネットワークの構築を図るために職員1名を配置。

(5)体操ショッピングバス事業の実施

- ・介護予防買い物支援一体型講座として『体操ショッピングバス』事業を実施。生活支援コーディネーターが中心となって、運動指導員や生活支援サポーターの協力のもと高

齢者の介護予防運動と生活支援の買い物を一体的に実施し、好評を得ています。

6月～3月までの計10回 延137人参加（前年度9回 延104人）

(6)高齢者の通いの場創出事業『オレンジカフェ』の実施

・町ボランティア連絡協議会との共催で、昨年度から始まった高齢者の介護予防や認知症予防、通いの場を創出するため「オレンジカフェ」を町内17カ所で実施。コロナ禍でありながらも感染予防に配慮しながら健康体操や介護予防教室、茶菓子を食べながらの語らいの場を提供し、利用者が着実な増加を見せる。

17団体、延114回 延1,369人参加（前年度 11団体、延63回、延942人参加）

【障がい者・児福祉事業部門】

1 障がい者・児福祉事業

(1) 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業所「ワークステーションかねがさき」

- ・開所日／月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 246日（前年度259日）
- ・契約者数42名≪生活介護18名、就労継続支援B型24名≫（前年度43名）
- ・1日平均31.7人（前年度29人）

① ふれあい食堂

- ・食堂203日営業（前年度251日）
- ・弁当304食(前年度3,206食)
- ・ふれあい配食サービス弁当1,332食(前年度1,327食)
- ・デイサービス昼食・おやつ提供309日提供(前年度312日)

② 自主製品

- ・タオル印刷8,275本納品（前年度16,850本）

③ 下請納品

- ・ギフト製函、自動車部品(サイドブレーキレール隠し)

④ ワークステーションかねがさき親睦旅行 **開催中止**

⑤ ワークステーションかねがさき・手をつなぐ会合同研修会（10月17日）

ふれあいランド岩手・岩手県立博物館（盛岡市）／54名参加

(2) 放課後等デイサービス事業所

① 「クレヨン」

- ・開所日／月～土曜日(祝日、盆、年末年始を除く)午後7時まで(土曜日は6時) 290日

- ・ 契約者数 23 名（前年度 19 名）
 - ・ 1 日平均 9.3 人(前年度 7.9 人)
 - ② 「第 2 クレヨン」 **※利用者数やサービス提供体制を勘案し、10 月から休止。**
 - ・ 開所日／月～土曜日(祝日、盆、年末年始を除く)午後 6 時まで 141 日
 - ・ 契約者数 12 名（前年度 14 名）
 - ・ 1 日平均 5.9 人（前年度 7.3 人）
 - ③ 「第 3 クレヨン」
 - ・ 開所日／月～金曜日(祝日、盆、年末年始を除く)午後 6 時まで 236 日
 - ・ 契約者数 17 名（前年度 12 名）
 - ・ 1 日平均 9.5 人（前年度 8.1 人）
 - ・ 恒例の「お休み処かみしも（結いの会）」との地域交流会 **開催中止**
- (3) 指定障害福祉サービス事業所（居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護）
- ・ 337 日／契約者数 12 名（前年度 11 名）
- (4) 障がい者基幹相談支援センター事業、相談支援事業所あゆみ
- ・ 一般相談 延相談件数 244 件（前年度 72 件）
 - ・ 計画相談 契約者数 33 名（前年度 27 名）
 - ・ 自立支援協議会（5 回開催）
 - ・ 先進地視察研修 **中止**
 - ・ 専門部会 6 回開催（療育・発達部会 3 回、地域生活部会 2 回、就労支援部会 1 回）
 - ・ 『金ケ崎町障がい者福祉計画』、『金ケ崎町障がい児福祉計画』策定に協力。

【東日本大震災復興支援事業】

1 生活支援相談事業

- (1) 避難者世帯 14 世帯への支援
- ・ 歳末義援金(11 月 1 日現在)14 世帯配分
 - ・ 東日本大震災復興支援事業赤十字奉仕団ふれあい交流会」避難者招待事業**開催中止**
- (2) 避難者交流サロン「金ケ崎町さくらの会」
- 避難者世帯を対象としたサロンを立ち上げ、開催。（平成 26 年 9 月より活動）

新型コロナ感染防止に配慮しながら温泉や交流施設で全7回開催、延47名の参加

【公益事業】

1 高齢者共同生活支援施設「グループリビング壮健ホーム」事業

各人の支援プログラムに基づき、食事、清掃など共同で日常生活を営みながら高齢化による身体の機能低下を予防し、元気で自立した生活を維持できるように支援を進めました。

・入居者／5名(定員5名) ・食事会／毎月定例1回 ・季節行事

- ① 春の行事(4月27日)お花見会 県立農業大学校／4名
- ② 夏の行事(7月28日)平泉町、一関市／4名
- ③ 秋の行事(10月21日)大船渡市、花巻市大迫ぶどう狩／3名
- ④ 新年会(1月) 中止
- ⑤ 冬の行事(3月)ひな祭り 中止